

## 平成28年度自主研究グループ成果等一覧

No.	グループ名	研究テーマ	研究概要	提言施策等	関係部局
1	Team ZERO	スマホのアプリを使った原子力災害時の避難について	<p>原子力防災の緊急時広報については、非常に複雑なものであり、ある程度整理した上で、情報が必要な住民に必要な情報を伝えることが困難になっている。</p> <p>そこで、スマートフォンのアプリを利用し、情報を整理したうえで、情報が必要な住民に情報を確実に伝えるためには、どのような機能をアプリに実装すればよいかを考察した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現状の緊急時広報の問題点 緊急時広報の問題点を考察</li> <li>2. 災害時のスマホの必要性 スマホの普及率や東日本大震災からスマホの必要性を考察</li> <li>3. スマートフォンに求める機能 具体的にアプリに求める機能を考察</li> <li>4. 複合災害時の対応 複合災害時の通信手段の提案</li> </ol>	<p><b>【問題点】</b></p> <p>原子力災害が発生した場合の避難を含めた防災対策については、単独での原子力災害と地震等の自然災害が重なる複合災害の想定が必要とされるうえ、原発から5km圏と30km圏では対応が異なり、かなり複雑なものとなっている。</p> <p>そのため、日頃からの訓練やインフラ整備を含めた事前対策は着実にやっていくことが重要であることに加え、原子力災害対策本部等が行う指示等については、確実に住民に伝わるものが大切であると考えます。</p> <p>現在、原子力安全対策課では、「お知らせ」の機能などがある愛媛県原子力情報アプリを開発し、大変有益な広報チャンネルと考えられるが、スマホアプリをダウンロードした方の全てに、同じ情報が配信され、大量で複雑に交じり合い、情報の取捨選択はスマートフォン利用者に任されてしまう。</p> <p><b>【県政への提言】</b></p> <p>現在、原子力情報スマートフォンアプリは既に開発されていることから、スマートフォンアプリの更新時に、以下の機能を盛り込めば、避難時の効率化が進むとともに、住民の安心感の醸成に繋がるものと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GPSを利用した避難経路情報</li> <li>・住民の識別情報の事前登録</li> <li>・住民からの被害情報報告</li> <li>・ヨウ素剤の服用指示</li> <li>・安否確認</li> </ul>	原子力安全対策課